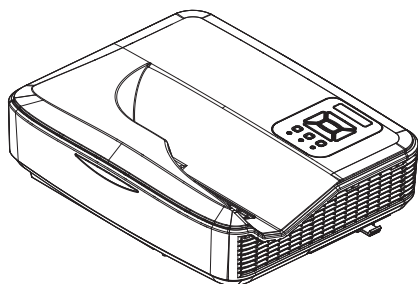


# ワイド

## SP-UW360iR

## 設置ガイド & ユーザーマニュアル【簡易版】



ワイドご相談窓口  
089-924-5020

ワイドの使い方や不具合に関するお問い合わせ、修理のご依頼はこちらまで

【受付時間】月～金 9:00～17:00（土日祝を除く）

サカワ ウェブサイト

<http://www.sakawa.net>

ユーザーマニュアル・各種ソフトウェアは、サカワウェブサイトからダウンロードできます。

### ■付属ソフトウェア ピックアップ

ワイドサイズ 16:6 で教材が作れる！



**Kocri for Windows**

タブレットがあればすぐ使える「教材作成ソフト」

※ Kocri for Windows の無償提供は、2019年11月1日以降に、ワイド (SP-UW360iR) をご購入頂いた方が対象です。

IR ペンを使用する場合必須です

**LCT ユーティリティソフトウェア**

IR ペンの位置合わせを行うために必須のソフトウェアです。



## 目次

### 設置ガイド

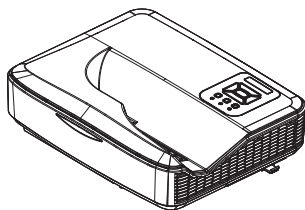
同梱品一覧	2
コンピュータ (PC) への接続例	3
壁に取り付ける	4
取付測定チャート	6
壁取付	6
天吊取付	8
直置き	9
映像を調整する	10
表示モードと解像度を設定する	11
曲面補正を行う	16
フォーカスを調整する	18
IR ペンを使うための初期設定	19
ユーティリティソフトウェアのインストール	19
タッチ位置の校正を行う	21

### ユーザーマニュアル【簡易版】

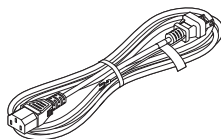
便利な機能	24
デジタルスライド機能	24
PBP (Picture By Picture) 機能	25
インタラクティブ機能	27
IR ペンの使い方	27
ワイドソフトウェアを使う	28
黒板モードでガイドを表示する	36
画面ならべ機能	40
サイドメニュー (画面サイズ変更・遠隔授業)	42
Kocri for Windows のダウンロード	43
困ったときは	44
トラブルシューティング	44
LED インジケーターの見方	45
メンテナンスのお願い	46

## 同梱品一覧

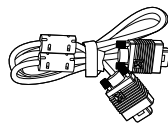
箱の内容を取り出して、下記の各アイテムが含まれていることをご確認ください。  
万一、不足品がある場合は、販売店までご連絡ください。



ワイド本体



電源コード (4.5m)



VGA ケーブル (5m)



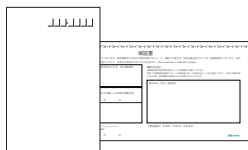
USB ケーブル (5m)



リモコン



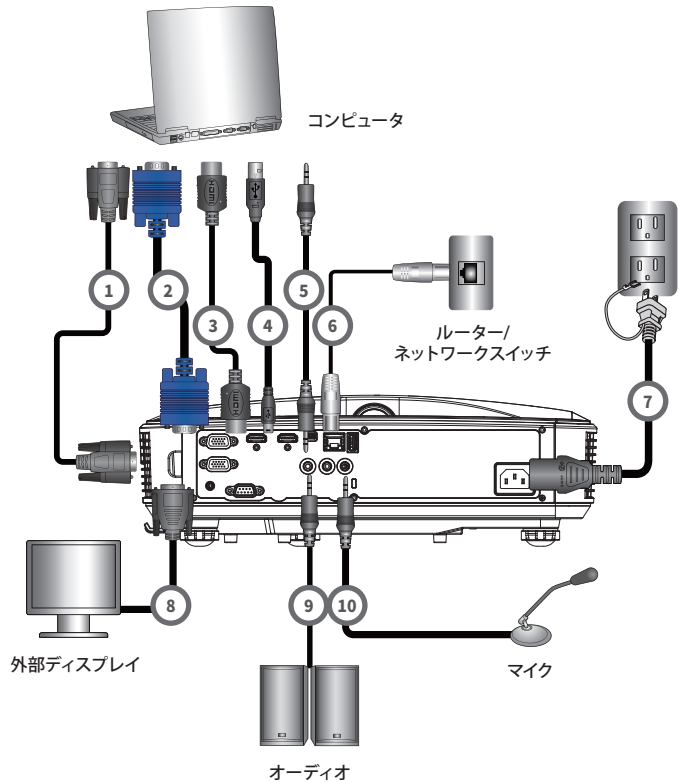
単 4 電池 × 2

IR ペン  
(単 4 電池 1 本付属) × 2IR ペン用交換用  
ペン先 × 8

保証書と返信用ハガキ

インストールガイド  
(本誌)

## コンピュータ (PC) への接続例



### 接続ケーブル

- (\*) オプションのアクセサリ
- (\*\*) 製品に同梱されている電源コードは本機専用であり、他の製品には使用できません。

1. RS-232ケーブル\*
2. VGAケーブル
3. HDMIケーブル\*
4. USBケーブル
5. 音声ケーブル\*
6. RJ-45ケーブル\*
7. 電源コード\*\*
8. VGA出力ケーブル\*
9. 音声ケーブル\*
10. 音声入力ケーブル\*

### 音声だけを出力するには？

音声ケーブルを接続してプロジェクタから音声のみを出力したい場合は、「自動ソース」をオフ（参照：[ユーザーマニュアル P.43「自動ソース」](#)）にした状態で、入力ソース「VGA」を選択してください。

## 壁に取り付ける

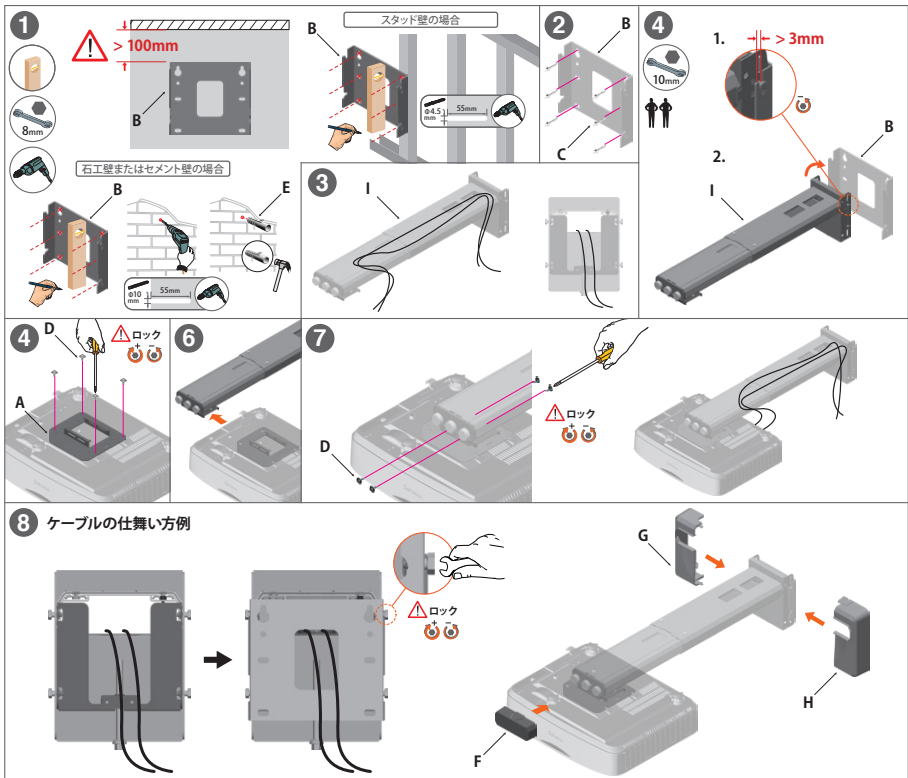
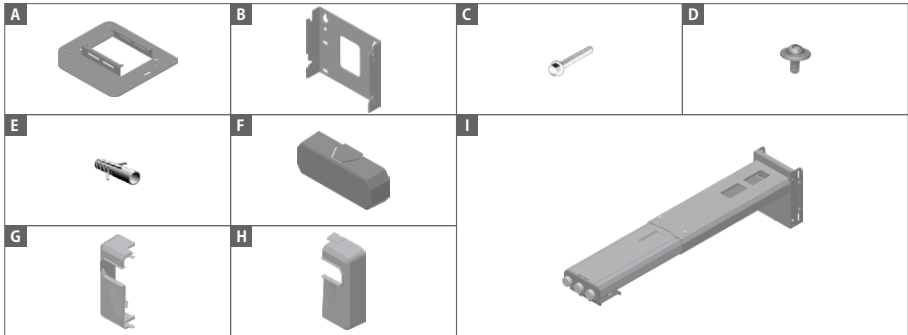
### 安全のために必ず守ってください

取り付け前に本インストールガイドをよくお読みになり、ここに記載された手順に従ってください。  
本インストールガイドは、いつでも参照できるように大切に保管してください。

- 不適切な取り付けや操作に起因する機器の損害または怪我について、当社は一切責任を負いません。
- 壁掛金具は取り付け及び取り外しが容易にできるよう設計されております。人為的あるいは地震・台風などの自然災害によって発生した設備の損害及び人員の障害に対しては、当社は一切の法的責任を負いません。
- プロジェクタの取付工事は、必ず専門の業者が行わなければなりません。
- 物の落下による危険を避けるため、機器の取り付け/取り外しには2名以上が必要です。
- 換気をよくするため、プロジェクタ周辺に十分なスペースを確保してください。
- 壁掛金具を取り付ける周辺をよくチェックしてください：
  - エアコンの通気口付近、または埃や塵の多い場所を避ける
  - 高温、多湿、または水のかかる場所を避ける
  - 垂直な場所のみ取り付けし、傾斜面への取り付けは避ける
  - 振動及び衝撃を受けやすい場所を避ける
  - 強い直射日光の当たる場所を避ける
- 部品の改造や損傷した部品を使用しないでください。
- 全てのネジを締めてください。(ネジまたはスレッドの損傷を避けるため過度の締めすぎに注意してください)
- 壁掛金具の最大支持重量は15kgです。それ以上の荷重を与えないでください。
- 壁掛金具にはプロジェクタを吊り下げる以外は、その他の部品を吊り下げないでください。また、壁掛金具に人がぶらさがらないようにしてください。
- プロジェクタ及び壁掛金具を取り外した後は、壁にネジ孔とネジが残ります。また、長期使用後には壁面にシミが残る場合があります。
- 壁の種類及びプロジェクタの取付工事は、当社の責任範囲外です。
- ワイドをご使用の際は、映写対応黒板または、映写対応ホワイトボードで使用していただくか、マグネットシートスクリーンに投影して使用されることをおすすめします。使用環境によっては、映写対応黒板および映写対応ホワイトボードやマグネットシートスクリーンに投影した場合でも投影映像が見づらくなる場合があります。



## 壁取付の手順



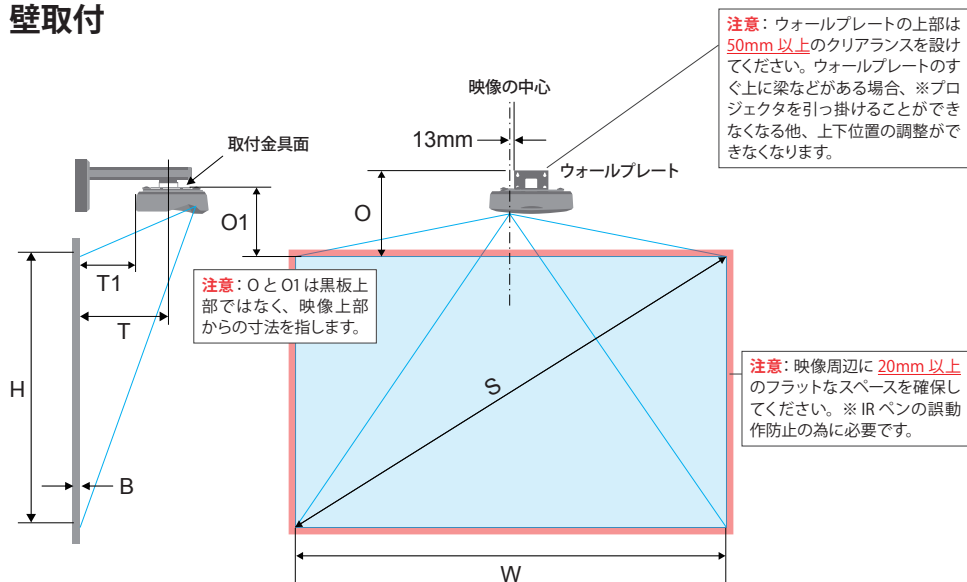
## 取付測定チャート

設置業者様へ【必ずお読みください】

- ・ **投影面周辺に20mm以上のフラットなスペースを確保してください。投影面周辺20mm未満に黒板枠や粉受けがある場合、IRペンの校正及び使用に支障をきたす恐れがあります。**

- ・ 表の数値は目安です。設置する場所や投影面の状態、プロジェクタの個体差等により数値に差異が発生することがあります。
- ・ 「垂直キーストン機能」を使用すると画質が劣化したり「デジタルスライド機能」使用時に画角が変形する恐れがあります。
- ・ 希望画面サイズが表にない場合、最も近いサイズの値を参考にしてください。(例: 132インチ→130インチ)
- ・ アスペクト比16:6、16:9、4:3それぞれの「映像高さ」の値は同じです。
- ・ 壁取付のチャートの値は、壁掛金具の上下調整位置をセンターの場合として算出しています。壁掛金具による金具の上下調整幅は、土約38mmです。

## 壁取付



## 平面（平面黒板）に投影する場合 [画面アスペクト比 16：6]

[単位：mm]

映像サイズ(S) (インチ)※1	映像幅(W)※1	映像高さ(H)	投影面からプロ ジェクタ中心まで の距離(T)	投影面からプロ ジェクタの背面ま での距離(T1)	映像の最上部から 壁プレートの最 上部までの距離 (O)	映像の最上部から 接合突起の最 上部までの距離 (O1)
120 (86)	2854 (1900)	1070	654	518	490	396
125 (90)	2973 (1980)	1115	689	553	508	411
130 (94)	3092 (2060)	1159	725	589	526	424
135 (96)	3211 (2130)	1204	761	625	544	437
140 (100)	3329 (2220)	1249	797	661	562	451

※1 括弧内の数値は、画面アスペクト比 16：9 投影時の目安寸法です。

※オプションの壁掛金具 KM-CR001 は (T) の数値が最大で約 750 までの対応となります。

## 曲面（曲面黒板）に投影する場合 [画面アスペクト比 16：6]

曲面黒板に投影する場合、黒板幅が **3600mm 以内** の場合に限り、こちらの表の数値で取付を行ってください。

黒板幅が **4500mm 以上** かつ、投影面のカーブが緩やかで平面に近い場合は、上表「平面（平面黒板）に投影する場合」の数値で取付を行ってください。

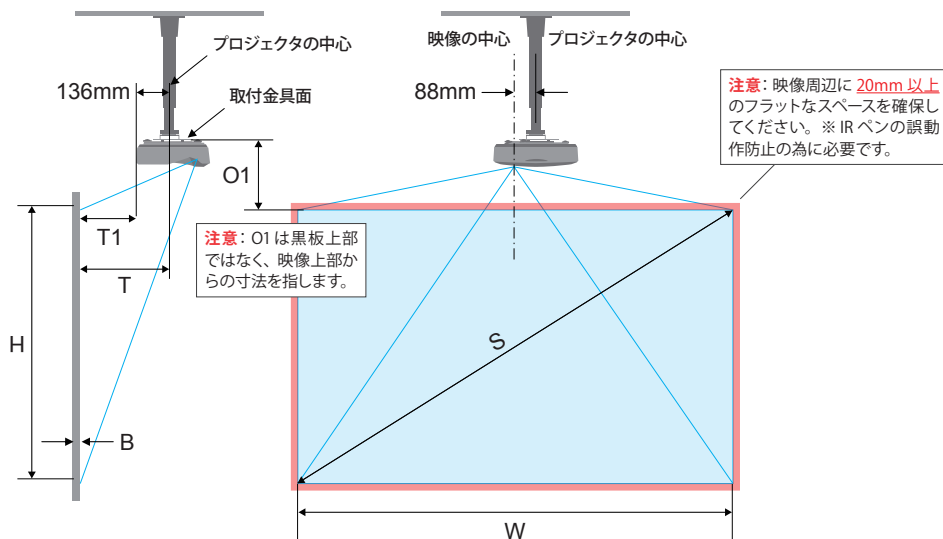
[単位：mm]

映像サイズ(S) (インチ)	映像幅(W)	映像高さ(H)	投影面からプロ ジェクタ中心まで の距離(T)	投影面からプロ ジェクタの背面ま での距離(T1)	映像の最上部から 壁プレートの最 上部までの距離 (O)	映像の最上部から 接合突起の最 上部までの距離 (O1)
120	2854	1070	654	518	523	429
125	2973	1115	689	553	541	447
130	3092	1159	725	589	559	465
135	3211	1204	761	625	577	483
140	3329	1249	797	661	595	501

※数値は、R 値 21626.62（一般的な曲面黒板の R 値を参考）の曲面に対し、「曲面補正機能」を使って投影画面をきれいな長方形に調整した際の寸法です。

※オプションの壁掛金具 KM-CR001 は (T) の数値が最大で約 750 までの対応となります。

## 天吊取付



## 平面に投影する場合 [画面アスペクト比 16:6]※参考値

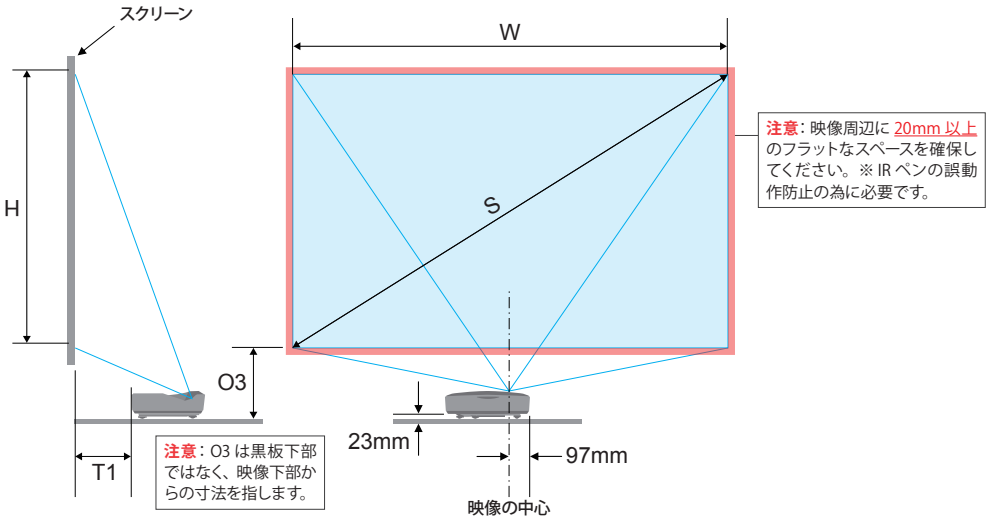
以下のチャートに従って設置した場合、映像サイズが 125 インチ以上になります。金具設置後の位置調整が難しい天吊設置では、まずは大きめに映像を映し、その後、プロジェクト本体の「設定メニュー」>「スクリーン」より、「画面縮小」や「映像デジタル補正」を使用して調整を行うことをおすすめします。(参照: [ユーザーマニュアル P.38「スクリーン」](#))

[単位: mm]

映像サイズ(S) (インチ)※1	映像幅(W)※1	映像高さ(H)	投影面からプロジェクタ中心までの距離(T)	投影面からプロジェクタの背面までの距離(T1)	映像の最上部から接合突起の最上部までの距離(O1)
125 (90)	2973 (1980)	1115	725	589	424

※1 括弧内の数値は、画面アスペクト比 16:9 投影時の目安寸法です。

## 直置き



### 平面に投影する場合 [画面アスペクト比 16 : 6]

[ 単位 : mm ]

- ・ 数値は参考寸法です。設置の際は、実際に映像を投影しながら調整することをおすすめします。

映像サイズ(S) (インチ)※1	映像幅(W)※1	映像高さ(H)	投影面からプロジェクタの背面までの距離(T1)	映像の最下部からテーブルの最上部までの距離(O3)
120 (86)	2854 (1900)	1070	467	389
125 (90)	2973 (1980)	1115	497	403
130 (94)	3092 (2060)	1159	527	416
135 (96)	3211 (2130)	1204	557	429
140 (100)	3329 (2220)	1249	587	443

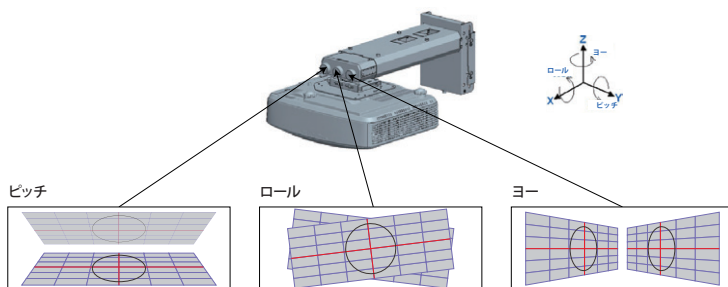
※1 括弧内の数値は、画面アスペクト比 16 : 9 投影時の目安寸法です。

## 映像を調整する

画角調整の際はメニューより、「設定」>「テストパターン」を表示すると調整がしやすくなります。

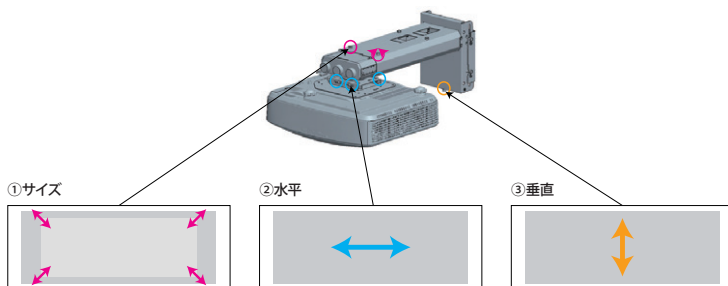
### ステップ1:ピッチ、ロールおよびヨーの調整

ピッチ、ロールおよびヨーの調整ノブをまわして、映像がきれいな長方形になるようにします。



### ステップ2:水平、垂直およびサイズ調整

1. ネジを緩めてから、 프로젝터를動かして映像サイズを調整します。調整後はネジを締め直します。
2. ネジを緩めてから、 프로젝터를動かして映像を水平方向に調整します。調整後はネジを締め直します。
3. 六角レンチを回して映像を垂直方向に調整します。



## 表示モードと解像度を設定する

### 画面の表示モードを変更する

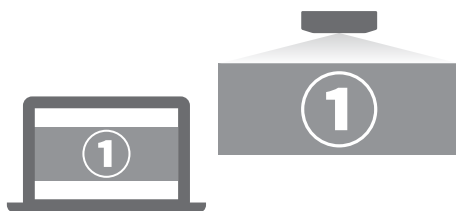
コンピュータの表示モード「複製」と「拡張」を理解し、使用方法に適した表示モードを選択します。

**注意：** プロジェクタとコンピュータを接続した状態でなければ表示モードは選択できません。

#### 複製モードとは

コンピュータ画面とプロジェクタ投影画面が同じになります。

それぞれの画面の解像度（アスペクト比）も同じになるため、ワイドに最適な解像度に設定した場合、下図のように、コンピュータ画面にはワイド画面（アスペクト比 16:6）が表示され、上下に黒の余白が発生します。



#### 拡張モードとは

1つの画面をコンピュータ画面とプロジェクタ投影画面で分割して表示します。

それぞれの画面に対して解像度の設定が可能です。



## 複製と拡張を切り替える

### Windows 10、Windows 8 の操作手順

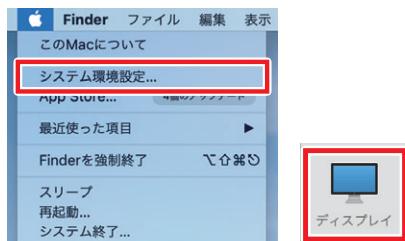
キーボードの「Windows」キーを押しながら、「P」キーを数回押して任意の表示モードを選択します。



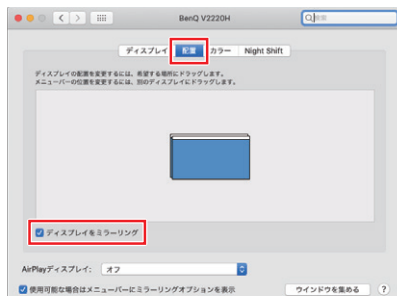
Windows 10の場合

### macOS の操作手順

1. アップルメニュー > 「システム環境設定」と選択して「ディスプレイ」をクリックし、「ディスプレイ」をクリックします。



2. 「配置」を選択して、「ディスプレイをミラーリング」項目をクリックして表示モードを切り替えます。ミラーリングとは、「複製モード」を指します。



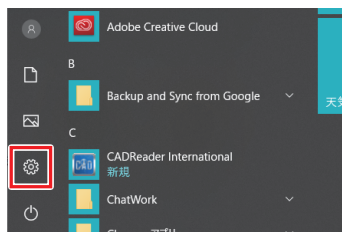


## 画面解像度を変更する

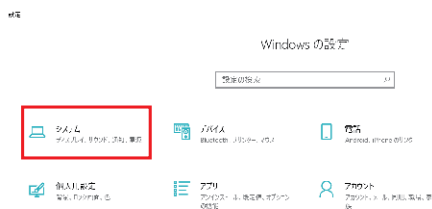
コンピュータの画面解像度を、アスペクト比 (16 : 6) に最適な値「1920 × 720」に変更します。

### Windows 10 の操作手順

1. 「スタート」>  (設定) をクリックします。



2. 「Windows の設定」が表示されます。「システム」をクリックします。

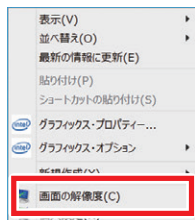


3. 「システム」が表示されます。画面左側から「ディスプレイ」をクリックし、「解像度」の設定項目をクリックして、表示された一覧から「1920 × 720」をクリックします。

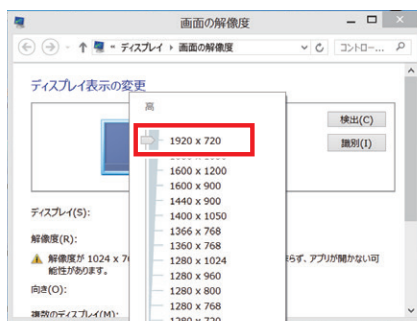
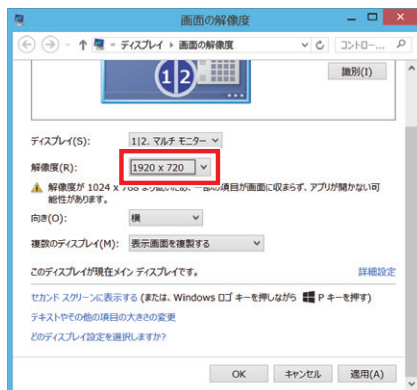


## Windows 8 の操作手順

1. 「デスクトップ」の何もない所を右クリックし、「画面解像度」をクリックします。



2. 「解像度」の設定項目をクリックして、表示された一覧から「1920 × 720」をクリックします。



## macOS の操作手順

1. アップルメニュー > 「システム環境設定」と選択して「ディスプレイ」をクリックし、「ディスプレイ」をクリックします。



2. 「変更」を選択して、表示された一覧から「1920 × 720」をクリックします。



## 曲面補正を行う

湾曲した面に投影した際に発生する映像の歪みを補正できます。



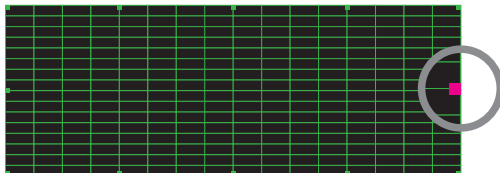
- 曲面補正は、コンピュータを映像ケーブルで接続して投影がされている状態でなければ設定できません。

### リモコンでの操作手順

1. リモコンの [8]【曲面補正】 ボタンを押します。



2. 曲面補正グリッドが表示されます。リモコンの4方向選択ボタンで調整したい頂点を選択し（決定は【決定】ボタン）、リモコンの4方向選択ボタンで頂点を移動させて映像がきれいな長方形になるように調整してください。

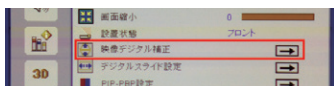


現在選択中の頂点が紫色で表示されます。

3. 調整が完了したら、[8]【曲面補正】 ボタンを押して補正画面を終了します。

### メニューでの操作手順

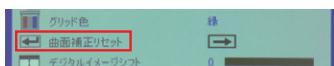
1. メニューを開き、「スクリーン」>「映像デジタル補正」を選択します。



2. 「曲面補正」>「5×3」を選択すると、曲面補正グリッドが表示されます。



3. 設定のリセットは、「曲面補正リセット」で行います。



## 曲面黑板に投影する際の補正手順

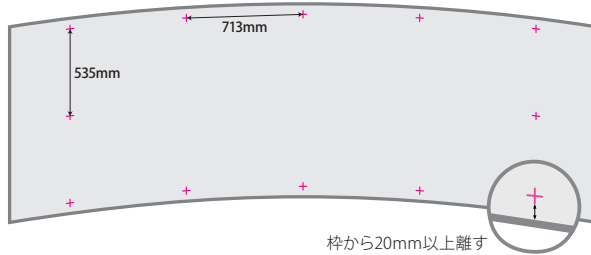
表面が湾曲した黑板（曲面黑板）に投影する際は、以下の手順に従って補正を行うとスムーズかつ綺麗に補正ができます。

### 補正の手順 (3600mm×1200mmの曲面黑板に対して、約120インチで投影する場合)



- 映像の周辺に 20mm 以上の何も無いスペースを確保してください。

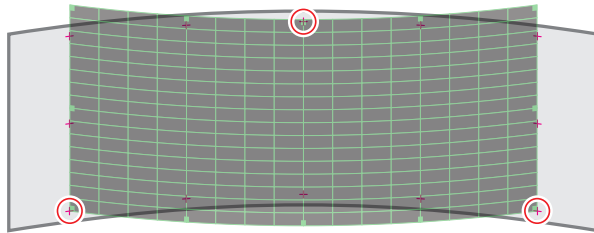
1. 投影予定位置の上部中心を基準に、黑板に12個の印をつけます。



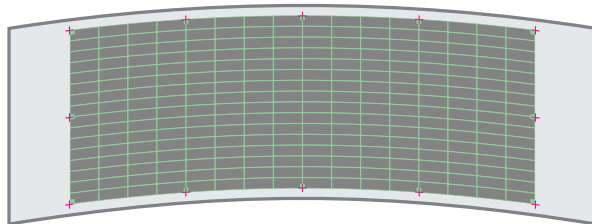
- 映像が下の様な台形にならないように、左右の辺は平行を保ってください。



2. 曲面補正グリッドを表示し、丸で囲んだ3箇所の印とグリッドの頂点を大まかに合わせます。印より映像を少し大きめにするのがポイントです。



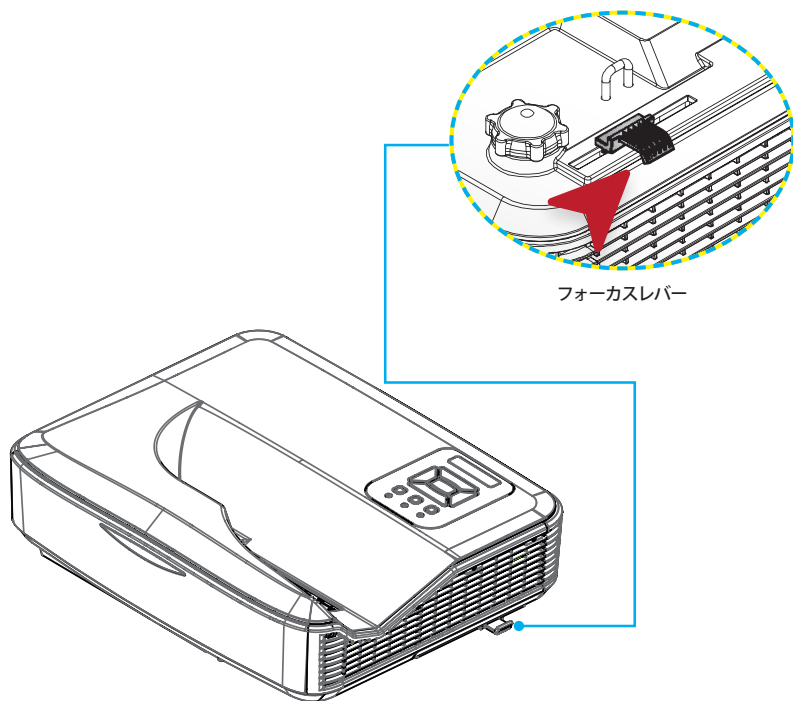
3. リモコンを使って、曲面補正グリッドの各頂点を印に合わせるように動かして完了です。



## フォーカスを調整する

映像のフォーカスを合わせるには、フォーカスレバーをスライドさせます。

- ▶ フォーカスの合う距離の目安は、レンズから壁まで約 0.72 ~ 0.84m の範囲です。



## IRペンを使うための初期設定

### ユーティリティソフトウェアのインストール

タッチ位置の校正を行う際に必要なソフトウェアのインストールを行います。

#### ソフトウェア動作環境

ソフトウェアのインストールの前に、PCが以下の条件を満たしていることを確認してください。

システム要件	
オペレーティングシステム	Windows 7 / Windows 8 / Windows 8.1 / Windows 10: タッチモード(10 タッチポイント)およびマウスモードに対応(Windows: .NET Framework 4.0 のインストールが必要です) OS X 10.11 El Capitan / macOS 10.12 Sierra
CPU	Intel CoreTM i3 またはそれ以上
メモリ	2GB またはそれ以上

#### インストールの準備

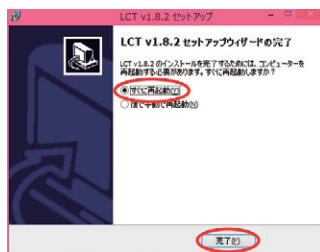
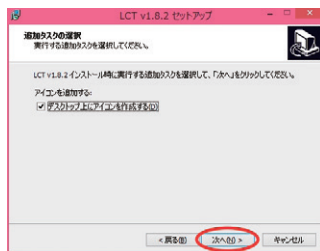
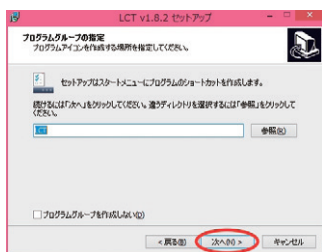
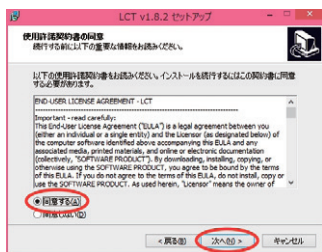
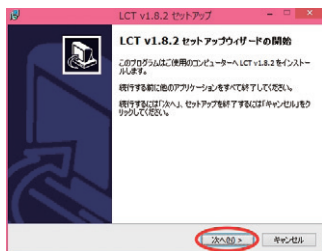
株式会社サカワwebサイト (<http://www.sakawa.net>) から、ユーティリティソフトウェアのインストーラーをダウンロードし、以下の手順に従ってインストールを行います。

#### インストールの手順 (Windows PCの場合)

「LCTvx.x.exe」を起動します。(ソフトウェアのバージョンによって表記が異なります)



 help	2016/05/31 15:20	ファイル フォルダー
 LCTv1.8.2.exe	2015/10/21 13:21	アプリケーション

手順に沿ってインストールを行います。途中の「インストール先」の指定などは必要に応じて変更してください。(通常は手順の通りで問題ありません)



以上で、インストール作業は終了です。

インストールが完了すると、PCのタスクトレイに以下のいずれかのアイコンが表示されます。

アイコン	状態
	ワイドとPCが正常に接続されている状態
	ワイドとPCが接続されていない状態

続いて、「タッチ位置の校正」作業を行います。



## タッチ位置の校正を行う

IR ペンを使用する場合、初回セットアップ時に必要な作業です。以下の作業は、一度行えばプロジェクタ及び投影面の位置関係が変わらない限り再度行う必要はありませんが、タッチ位置がずれたと感じた際にはタッチ位置の校正を再度行ってください。



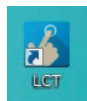
### タッチ位置の校正を行う前に

プロジェクタのタッチ位置の認識センサーは非常に繊細です。これからの各種設定を行う前に以下の点に注意することで、より良い状態のタッチ操作環境を再現することができます。

#### なるべく以下の条件を満たしてください

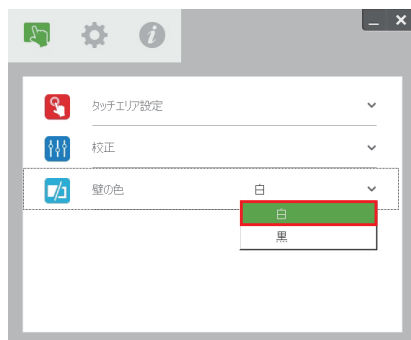
- ▶ 部屋の電気を消してカーテンを閉めるなど、なるべく周囲を暗くしてください。(太陽光や蛍光灯の光が赤外線センサーに干渉することがあります)
- ▶ フォーカスを調整し、投影映像を鮮明にした状態で行ってください。
- ▶ 設定中はレンズを遮らないようにし、本体に振動を与えないでください。

1. 「IR ペン & LCT ユーティリティソフトウェア」を起動します。



2. 「壁の色」を、黒板に投影するのであれば「黒」、ホワイトボードやスクリーンに投影する場合は「白」に設定します。

- 必ず投影面の色に合わせて正しく設定してください。「壁の色」の設定が正しく行われていない場合、この後のタッチ位置の「校正」が完了できないことがあります。
- 投影面の色がグレーなどあいまいな場合は、まずは明るさが近い方の色を選択し、「校正」が完了できない場合にもう片方の色を選択し、再度「校正」を行ってください。



3. 「タッチエリア設定」から、「自動」を選択します。タッチエリアの検出が自動で実行されます。



4. 「校正」から、「自動」を選択します。(タッチ位置の校正が自動で実行されます。実行中は、プロジェクタ本体を動かさず、また、投影面に影ができないように注意してください)



5. 以上でタッチ位置の自動校正は終了です。

#### 自動設定がうまくいかない時は・・・

ユーザーマニュアル P.55「なるべく以下の条件を満たしてください」を参照の上、各条件を満たした状態で再度設定を行ってください。

それでも自動設定が失敗する場合は、ユーザーマニュアル P.57「タッチ位置の校正を手動で行う」を参照の上、設定を手動で行ってください。

## トラブルシューティングビューワ

周囲からの赤外線（IR 光）がタッチ性能に干渉する場合があります。トラブルシューティングビューワは、デバッグ（問題修正）のためにリアルタイム映像を表示します。光の干渉が緑色でマークされます。緑色でマークされた妨害物が映像領域内に表示される場合は、取り除いてください。

**注意：**トラブルシューティングビューワでは IR ペンによるタッチが無効になります。クリックして終了してください。

**注意：**投影面周辺に 20mm 以上のフラットなスペースを確保してください。投影面周辺 20mm 未満に黒板枠や粉受けがある場合、IR ペンの校正及び使用に支障をきたす恐れがあります。



## 便利な機能

### デジタルスライド機能

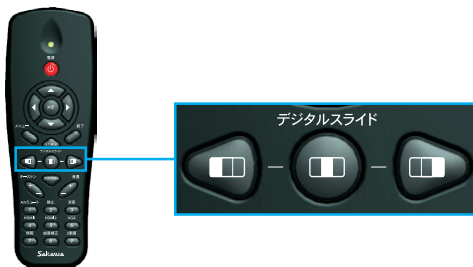
投影画面を左・中央・右に移動できます。板書と併用する際に便利な機能です。



- デジタルスライドは、アスペクト比 16:9 または、4:3 の状態のみ使用可能です。アスペクト比 16:6 での投影時は、デジタルスライドが使用できません。
- 「PIP - PBP 機能」がオンの時は、デジタルスライドをオンにできません。

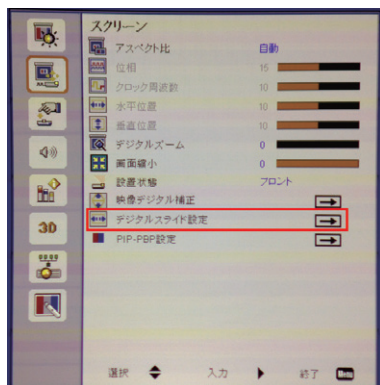
### リモコンでの操作手順

- リモコンの【デジタルスライド】ボタンを操作することで、画面を左・中央・右に移動できます。

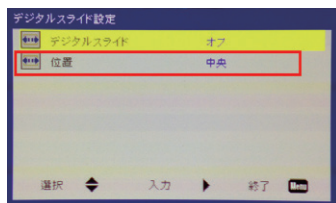


### メニューでの操作手順

- メニューを開き、「スクリーン」>「デジタルスライド設定」を選択します。



- 「位置」で映像位置を移動できます。



## PBP (Picture By Picture) 機能

画面を左右均等に分割し、それぞれに別系統の映像を出力する機能です。



### 操作手順 (共通)

機器 2 台を映像ケーブルでプロジェクタに接続します。(接続例: HDMI1 と HDMI2 または、HDMI1 と VGA)



- ・「デジタルスライド」が「オン」の状態では、「PIP - PBP 設定」の項目がグレーアウトされて選択できません。

### リモコンでの操作手順

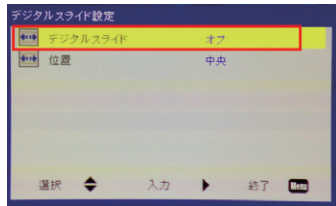
1. リモコンの [9] 【2画面】 ボタンを押すことで PBP モードに切り替わります。



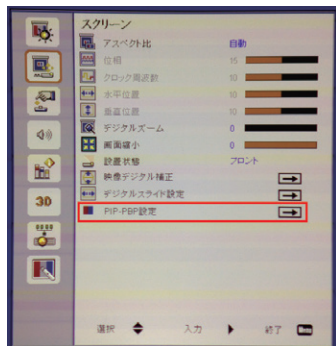
2. いずれかの入力ソースボタン ([4] 【HDMI1】 ボタンなど) を押すことで、PBP モードが終了します。

## メニューでの操作手順

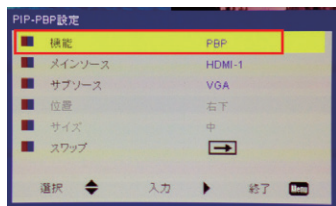
1. メニューを開き、「スクリーン」>「デジタルスライド設定」より、デジタルスライド設定を「オフ」にします。



2. 「スクリーン」>「PIP-PBP 設定」を選択します。



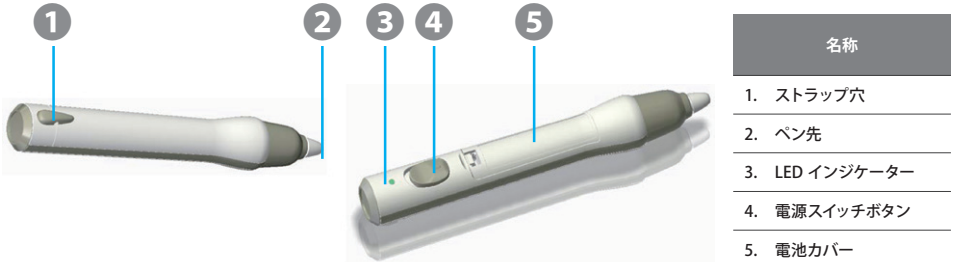
3. 「機能」>「PBP」を選択、または、選択されていることを確認します。メインソースとサブソースを確認し、必要に応じて変更します。「スワップ」を選択すると現在表示されているソースが入れ替わります)



## インタラクティブ機能

### IRペンの使い方

IRペンによるPCのタッチ操作を有効にするには、PCに、「IRペン&LCTユーティリティソフトウェア」がインストールされており、プロジェクタとPCがUSBケーブルで接続されている必要があります。



1. 付属の単四電池を入れます。
2. 電源をオンにします。

### IRペンの使い方

IRペンは、ワイヤレスマウスのように使うことができます。ペンで投影面をタッチ操作することで、クリックやドラッグといった、マウスと同様のPC操作が行えます。

### 日頃の使い方・メンテナンス

IRペンを使用しない時は、IRペンの電源をオフにしてください。

ペン先が摩耗して使えなくなった時は、付属のペン先と交換してください。

### LEDインジケーターの見方

状態	電源スイッチ	LEDの状態	注記
通常オン	オフ→オン	2秒間緑色に点灯	
低バッテリー電源	オフ→オン	2秒間赤色に点灯	バッテリー不足時
	オン	赤色に点滅 (ペン先が押されたとき)	
通常オフ	オフ	オフ	

※IRペンに関するその他の詳しい情報は、「ユーザーマニュアル」をご参照ください。

## ワイドソフトウェアを使う



### はじめに

ワイドソフトウェアをインストール、ご使用いただく前に、お使いのPCが下記の必要動作環境を満たしていることを確認してください。

必要動作環境を満たしていない場合、ワイドソフトウェアが起動しない、正しく動作しない、または、予期せぬ動作をするなどの問題が発生する恐れがあります。

### 必要動作環境

#### PC

項目	説明
OS	Windows 10 (64bit 版 / 32bit 版) Windows 8.1 (64bit 版 / 32bit 版)
RAM	2GB 以上
HDD 必要空き容量	5MB 以上

#### 画面設定

項目	説明
表示モード	「複製 (ミラーリング)」または、「セカンドスクリーンのみ (プロジェクタのみ表示)」



## ワイドソフトウェアをインストールする

株式会社サカワ web サイト (<http://www.sakawa.net>) にアクセスして、ワイドソフトウェアをダウンロードし、以下の手順に従ってインストールを行います。



- ワイドソフトウェアをインストールし直す、または、バージョンアップする場合は、一度既存のワイドソフトウェアをアンインストールしてからインストールを行ってください。

ワイドセットアップ.exe

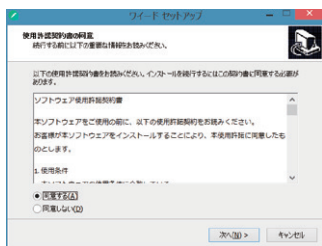
2018/05/23 10:53 アプリケーション

セキュリティ警告が表示される場合は、「はい」または、「実行」をクリックして進めてください。

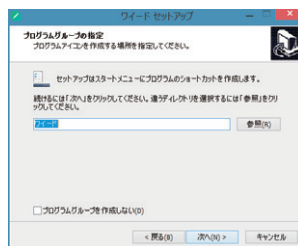
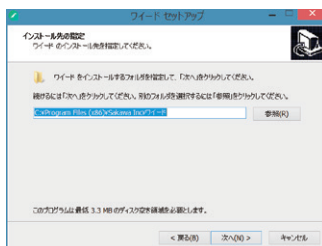
### 例：Windows10 のセキュリティ警告

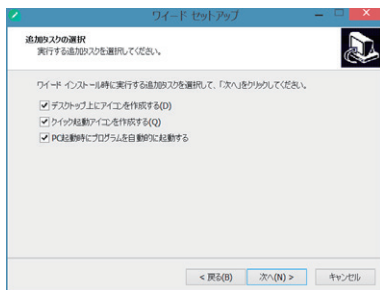


## インストール手順

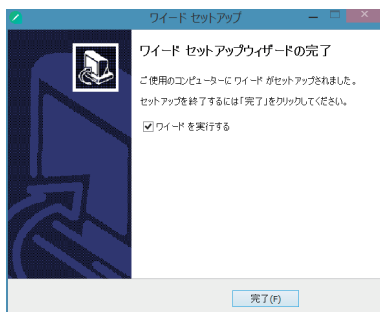
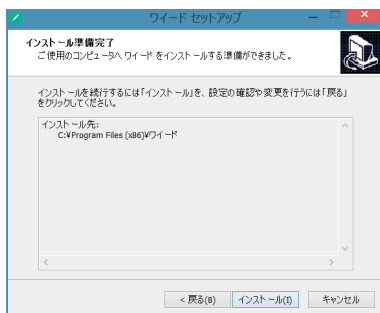


画面の案内に従って進みます。





設定項目を確認し、必要に応じてチェックマークを入れてください。通常は、デフォルトの状態のまま「次へ」を選択してください。



以上でワイドソフトウェアのインストールが完了しました。

## ワイドソフトウェアを起動する

インストール時に、「PC起動時にプログラムを自動的に起動する」にチェックを入れている場合、PCの起動と同時にワイドソフトウェアは起動します。



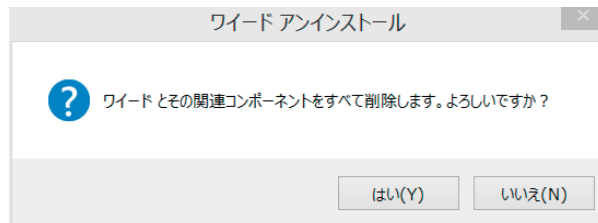
ワイドソフトウェアを任意のタイミングで起動したい場合、デスクトップにある上記のアイコンをダブルクリックします。



ワイドソフトウェアが起動すると、上記のアイコンが常にデスクトップに表示されるようになります。

## ワイドソフトウェアをアンインストールする

1. 「コントロールパネル」>「プログラムと機能」をクリックします。
2. 「ワイド バージョン x.x」を選択し、「アンインストール」を選択します。
3. 以下の画面が表示されますので、「はい」をクリックしてアンインストールを開始します。



## 基本操作

ワイドソフトウェアは、「通常・待機時」と「詳細メニュー（以下、パレットという）表示時」の二つのアイコンモードがあります。

### 通常・待機時

「マウスモード」「ペンモード」の切り替えを行います。



パレットを表示します。

### パレット表示時

パレットを常に表示します。

ワイドソフトウェアを終了します。

【ペン・消しゴムツール】& 【全消去】  
ペン・消しゴムの選択を行います。

【保存】  
画面全体を画像として保存します。  
※ワイドソフトウェアのアイコンを含まずにキャプチャされます。

【ガイド幅調整】&  
【背景白黒反転】  
※「黒板モード」にて調整が可能なガイドを表示した際にのみ出現します。

【サイドメニュー】  
画面サイズ変更・遠隔授業（Zoom）が使えます。

【設定】  
ペンの設定を行います。

【戻る・進む】  
ペンでの書き込み・画像配置などの取り消し・やり直しを行います。

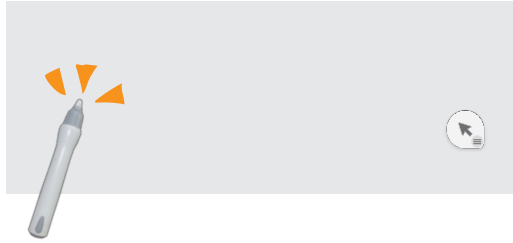
【画像配置】  
任意の画像を配置します。  
※「黒板モード」でのみ有効

【画面ならべ】

【黒板モード】

## アイコンを手元に引き寄せる

画面上を電子ペンで素早く3回クリック（トリプルクリック）することで、ワイドソフトウェアのアイコンを手元に引き寄せることができます。

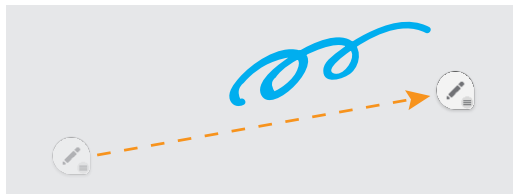


電子ペンで任意の位置をトリプルクリックすると、



アイコンが引き寄せられます。

アイコンを掴んでドラッグ操作することでアイコンの位置を変更することもできます。



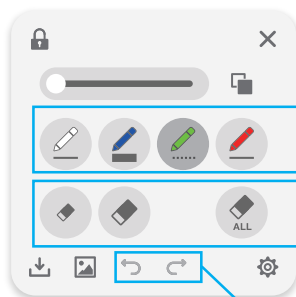
また、「マウスモード」「ペンモード」どちらでもトリプルクリックによるアイコンの引き寄せが可能です。

## 書く・消す

PDF や画像ビューア、ブラウザ上に書き込みを行えます。デスクトップ画面や一部のウィンドウでは書き込みを行えませんのでご注意ください。



クリックすると、最近選んだペン  
または、消しゴムツールに切り替わります。



【ペン (4種類)】  
色・線種・太さが表示されます。

【消しゴム】  
消しゴム小・大と、全消去です。  
※全消去は、配置した画像を含めて消去されます。



【戻る・進む】  
ペンでの書き込み・画像配置などの取り消し・やり直しを行います。

## ペンツールが使用できないウィンドウ

以下のウィンドウ (画面) では、ペンツールによる書き込みができません。

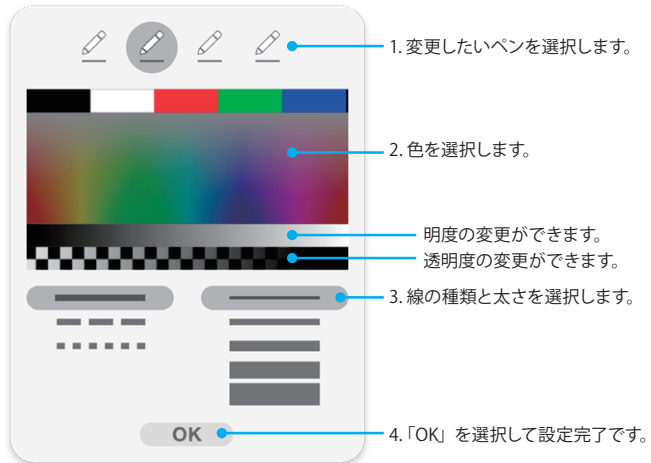
ペンツールが使用できないウィンドウ (画面)

デスクトップ画面

PowerPoint スライドショー時  
(ワイードソフトウェアのアイコンが非表示になります。)

## お気に入りのペンを登録する

よく使うペンを登録して素早く呼び出すことができます。



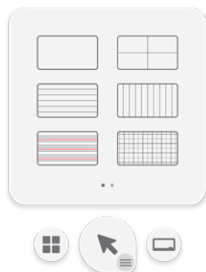
## 黒板モードでガイドを表示する

画面全体を白紙（ブランク）にする、または、ガイドを表示して、ペンツールで広々と書き込みを行えるモードです。

1. パレットを表示し、【黒板モード】ボタンをクリックします。



2. ブランク、または、任意のガイドを選択します。



## 黒板モードを終了する

再度、【黒板モード】ボタンをクリックすることで、黒板モードを終了します。





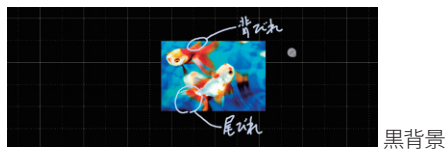
## ガイドの幅を変更する

表示したガイドの幅が変更可能な場合、パレットにガイド幅調整スライダーが出現します。

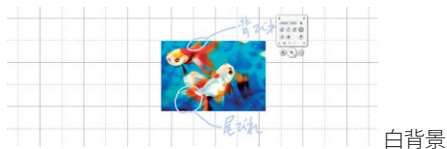


## 背景を白黒反転する

【背景白黒反転】ボタンをクリックすると背景を白黒反転します。



黒背景



白背景

## 画像を配置する

任意の画像を配置できます。

1. パレットを表示し、【画像配置】ボタンをクリックします。



2. 配置したい任意の画像を選択します。

読み込みが可能な画像ファイル

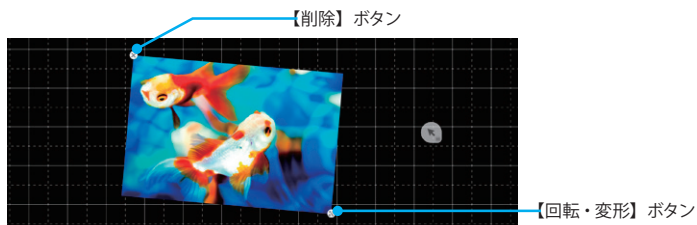
.png, .jpeg, .jpg, .bmp, .gif, .tiff

3. メインアイコンが以下のように変化したのを確認し、画像を配置したい場所をクリックすることで画像が配置されます。



## 配置した画像を、「移動」「回転」「拡大・縮小」する

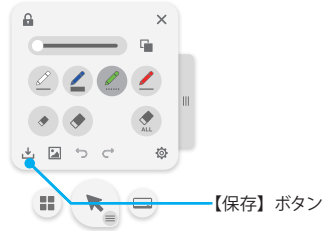
配置した画像をクリックすると、画像の左上に【削除】ボタン、右下に【回転・変形】ボタンが出現します。ドラッグ操作で削除や回転・変形ができます。



## 保存する

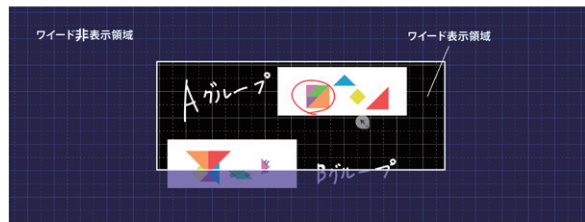
【保存】ボタンをクリックすると、ペンツールで書いた内容や、配置した画像を含めて画面全体を画像として保存できます。

保存される画像には、ワイドソフトウェアのアイコンは含まれません。

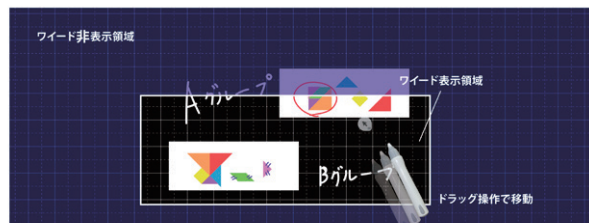


## 黒板モードの概念

黒板モードは、大きな1枚のキャンバスの一部分がワイドの表示領域に表示されているイメージであり、背景を電子ペンでドラッグ操作することでキャンバスを移動させ、隠れているエリアを表示することができます。



ドラッグ操作でキャンバスを移動します。



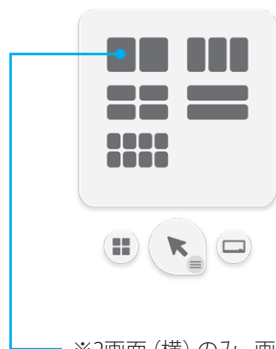
## 画面ならべ機能

現在開いているウィンドウを任意のレイアウトで整列配置できます。

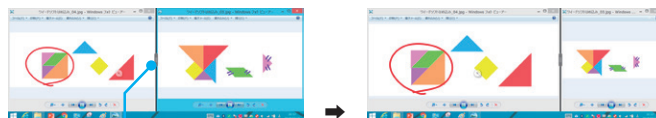
1. パレットを表示し、【画面ならべ】ボタンをクリックします。



2. レイアウトを選択します。

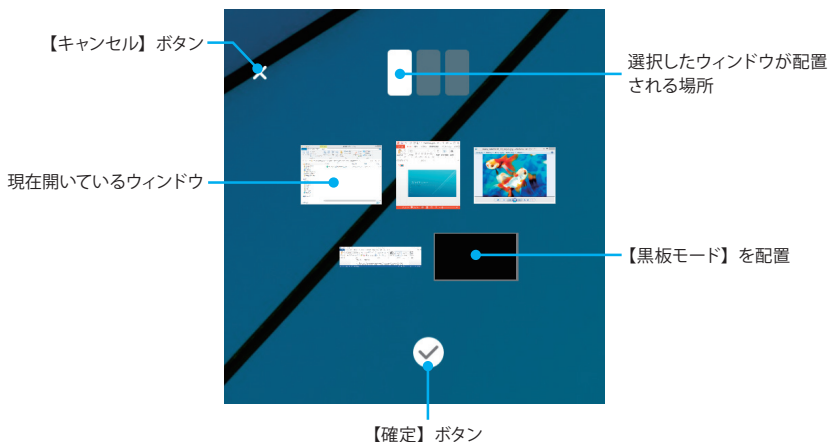


※2画面(横)のみ、画面の中央につまみが表示されます。つまみを掴んで左右にドラッグ操作することで、左右のウィンドウが連動したサイズ変更が可能です。

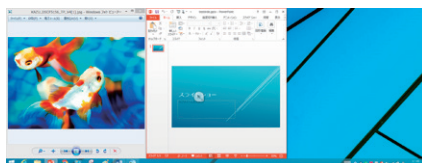


つまみ

3. 整列配置するウィンドウを選択していきます。例えば、「3列配置」を選択した際に、3つのウィンドウエリア全てにウィンドウを割り当てる必要はなく、2つのウィンドウを選択後、【確定】ボタンを押すと最後の1枠はblank（空きスペース）となります。



例：「3列配置」・・・ウィンドウ2つ選択後、【確定】ボタンを押した場合



blankには何も表示されず、背景のデスクトップが表示されます。

例：「3列配置」・・・ウィンドウ1つ選択、【黑板モード】選択、ウィンドウ1つを選択した場合

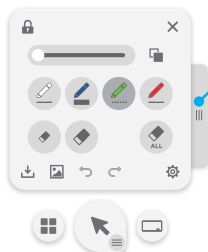


2列目がblankとなり、背景に黑板モードが表示されます。

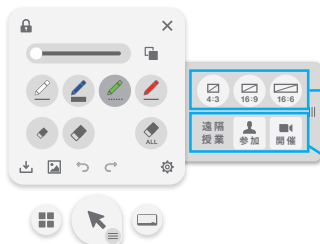
デスクトップを表示するには、【黑板モード】ボタンをクリックして黑板モードを終了します。

## サイドメニュー（画面サイズ変更・遠隔授業）


右にあるつまみを押すと、画像サイズ（解像度）と遠隔授業（Web 会議サービス「Zoom」）の利用ができます。




【サイドメニュー】  
クリックでメニューが開閉します。  
（下が開いた状態）



【画面サイズ変更】  
「4:3」、「16:9」、「10:8」の画面サイズ  
（解像度）に変更されます。

【遠隔授業（Zoom）】  
遠隔で授業・会議ができます。  
 Web会議に招待された場合、押すと参加できます。  
 ※開催者からミーティングIDをもらう必要があります。

 遠隔の方を招き、Web会議を開くことができます。  
 ※アドレス、パスワードの登録が必要です。

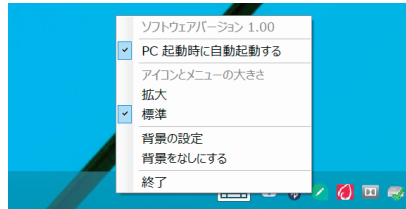


Zoomの使い方は公式HPをご覧ください。  
<https://zoom.us/jp-jp/meetings.html>

## 背景を設定する

アイコンおよびパレットの背景を任意の画像に変更することができます。

1. タスクトレイにあるワイドソフトウェアのアイコンをクリックして出現するメニュー（以下、タスクトレイメニューという）より、「背景の設定」をクリックします。



2. 背景にしたい画像を選択します。

### 背景をなしにする（初期状態に戻す）

タスクトレイメニューより、「背景をなしにする」をクリックします。

## アイコンおよびパレットの大きさを変更する

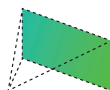
タスクトレイメニューより、「アイコンとメニューの大きさ」>「拡大」をクリックします。

アイコンおよびパレットの大きさが一回り大きくなります。初期値に戻す場合は、「標準」をクリックしてください。

## Kocri for Windowsのダウンロード

2019年11月1日以降にワイド（SP-UW360iR）をご購入頂いた方が対象です。

Kocri for Windowsを使うと、ワイドの投影画面サイズ（アスペクト比16:6）をフルに活かした教材作成ができます。Kocri for Windowsは、ワイド購入者は無料でダウンロード・お使いいただけますので、ぜひ一度お試しください。



**Kocri**  
ハイブリッド高級アプリ

ダウンロード・詳細情報は、株式会社サカワwebサイト (<http://www.sakawa.net>) にて

## 困ったときは

### トラブルシューティング

#### ワイード本体

問題	対処法
解像度「1920 × 720」が設定できない	<ul style="list-style-type: none"> <li>解像度 1920 × 720 は、プロジェクタを接続した状態でないと出現しません。</li> <li>PC が古い機種である場合など、PC によってはプロジェクタと接続しても設定ができない場合があります。</li> <li>画面モードが「複製」の場合、設定できないことがあります。画面モードを「セカンドスクリーンのみ」にしてお試しください。</li> </ul>

※本体の異常につきましては、P.45「LEDインジケーターの見方」をご確認ください。

#### IRペン&LCTユーティリティソフトウェア

問題	対処法
USB ケーブルで接続しても認識されない	<ul style="list-style-type: none"> <li>PC から USB ケーブルを抜き、再度挿し直してください。</li> <li>USB ケーブルを接続した状態で、PC を再起動してください。</li> </ul>
「タッチエリア設定」または、「校正」が失敗する	部屋の明かりを消し、なるべく暗くした状態で行ってください。

#### ワイードソフトウェア

問題	対処法
インストールができない・途中でエラーになる	PC が P.28「必要動作環境」を満たしているか確認してください。
アイコンが極端に小さく表示される	プロジェクタと PC の接続のタイミングによって、このような現象が発生することがあります。プロジェクタと PC を接続したまま、PC を再起動してください。
ペンツールでの書き込みができない	<ul style="list-style-type: none"> <li>デスクトップや PowerPoint のスライドショーなど、一部画面では書き込みができないように制限をしています。</li> <li>以前は書き込みができていたウィンドウに対して書き込みができなくなった場合は、ワイードソフトウェアを再起動してください。</li> </ul>



## LEDインジケータの見方

「プロジェクタが起動しない」など、動作がおかしい時は、まずはプロジェクタ本体のコントロールパネルにあるインジケータを確認して対処法を試してみてください。

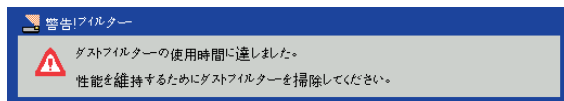
本機には次の3種類のインジケータがあります。インジケータの色と点灯状態によって本機の状態をお知らせします。

インジケータ			原因または状態	対処法
Power	Temp	Lamp		
 赤点灯	-	-	スタンバイ状態	正常です。
 青点灯	-	-	電源ON	正常です。
 赤点滅	-	-	起動準備中	正常です。
 黄点滅	-	 赤点灯	内部エラー	プロジェクタが自動的にシャットダウンします。頻繁に発生する場合は、お買い上げの販売店または、「ご相談窓口」に連絡ください。
-	 赤点灯	 赤点灯	電源エラー	コンセントから電源プラグを抜き、3分ほど待ってから再度電源プラグをコンセントに挿してプロジェクタを起動してください。
 黄点滅	 赤点滅	-	内部エラー	プロジェクタが自動的にシャットダウンします。頻繁に発生する場合は、お買い上げの販売店または、「ご相談窓口」に連絡ください。
-	 3秒間隔の遅い赤点滅	-	ファン異常	コンセントから電源プラグを抜き、3分ほど待ってから再度電源プラグをコンセントに挿してプロジェクタを起動してください。
-	 0.5秒間隔の速い赤点滅	-	カラーホイール異常	お買い上げの販売店または、「ご相談窓口」に連絡ください。
-	 赤点灯	-	内部高温異常 (オーバーヒート)	異常ではありません。プロジェクタが高温になると投影を自動停止します。頻繁に発生する場合は、次の2点を確認してください。 ダストフィルターの清掃を行ってください。(部品が高温になっていることがありますので十分注意してください) コンセントから電源プラグを抜き、3分ほど待ってから再度電源プラグをコンセントに挿してプロジェクタを起動してください。
-	-	 赤点灯	光源に関するエラー	コンセントから電源プラグを抜き、3分ほど待ってから再度電源プラグをコンセントに挿してプロジェクタを起動してください。

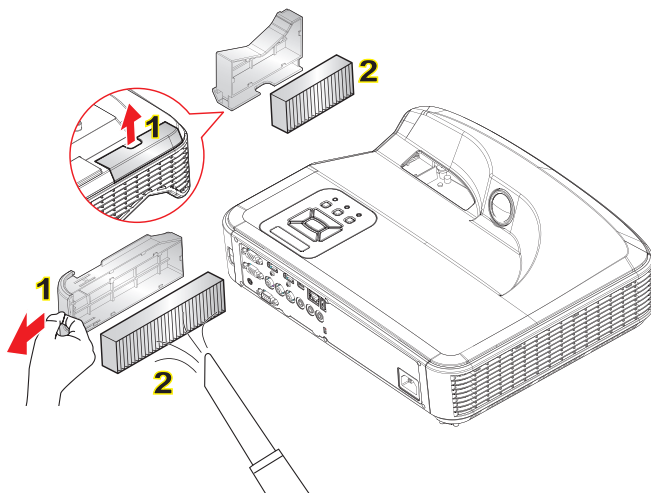
## メンテナンスのお願い

### ダストフィルターの取付および清掃

500 時間の運転毎、または埃の多い環境でプロジェクタを使用する場合は頻繁にダストフィルターを掃除することをお勧めします。画面に警告メッセージが表示されたときは、下記に従ってダストフィルターを掃除してください。



- ・ダストフィルターは常時装着しておく必要があります。
- ・適正なメンテナンスによって過熱とプロジェクタの故障を防ぐことができます。
- ・型式の仕様に関して特定のインターフェースを選択します。



### ダストフィルターの清掃手順

1. 【電源】 ボタンを押してプロジェクタの電源を切ります。
2. コンセントから電源プラグを抜きます。
3. 図に示すとおり、ダストフィルターを引き出します。[ 図中 1 ]
4. ダストフィルターを慎重に取り外します。次に、フィルターを清掃または交換します。[ 図中 2 ]
5. フィルターを装着するには、上記手順を逆に行います。
6. ダストフィルター交換後、プロジェクタの電源を入れ、フィルター使用カウンタをリセットします。ユーザーマニュアル P.44「オプションフィルターの設定」参照

## 注意

1. 本書の内容の一部、または全てを無断転載することをお断りいたします。
2. 本書の内容について将来予告なしに変更することがあります。
3. 本書の内容に、万一ご不審な点や誤り、お気付きの点がございましたら、ご連絡くださいますようお願いいたします。
4. 本ソフトウェアの使用の結果の影響につきましては、3. 項にかかわらず責任を負いかねますのでご了承ください。
5. 本製品がお客様により不適當に使用されたり、本書の内容に従わずに取り扱われたり、または株式会社サカワ指定の者以外の第三者により、変更されたこと等に起因して生じた損害等につきましては、責任を負いかねますのでご了承ください。
6. 本書中の画像・挿絵は実際と異なる場合があります。

## 商標について

Microsoft、DirectX、Microsoft Office、PowerPoint、Windowsは、米国 Microsoft Corporationの米国およびその他の国における商標または登録商標です。

なお、各社の商標および製品商標に対しては特に注記のない場合でも、これを十分尊重いたします。

## その他の詳しい情報について

ワイドに関するその他の詳しい情報につきましては、株式会社サカワウェブサイト (<http://www.sakawa.net>) にて公開している「ユーザーマニュアル」をご確認ください。

